


坂下地区

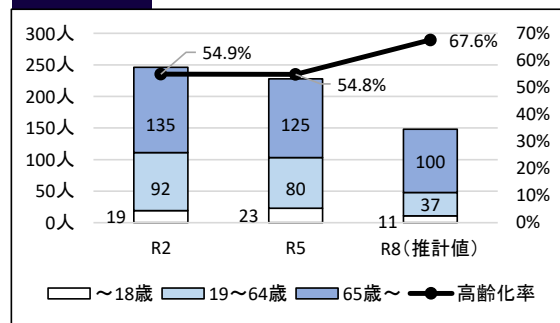
◆概要

	【位置図】	まち協名	坂下地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市関町沓掛234	電話	0595-96-2001
		地区構成	坂下 沓掛 市瀬		
		地域特性	<p>亀山市の西部に位置し、鈴鹿峠の麓の東海道48番目の宿場であった坂下から街道沿いに沓掛及び市瀬の3自治会で構成され、歴史的にも坂下村行政区並びに坂下小学校区であったつながりが強い地域です。鈴鹿馬子倶楽部の指定管理を受け、会館の活動拠点としての機能を高めるとともに、会員及び多様な団体との交流・連携できる機会づくりに取り組んでいます。会館と隣接する鈴鹿自然の家(旧坂下小学校)及び天体観測施設との一体的な利活用には可能性を有しています。</p>		
面積	1,961.7ha	ホームページ	https://magoutakaikan.wordpress.com/		
めざす姿	地域みんなが前へ踏み出すまち～ええやん坂下～				
地域の誇り	生き生きとした生活を楽しみながら、住民が元気に安心して暮らしている				

◆人口

	令和2年	令和5年	令和8年 (推計値)	増減	
総人口	246人	228人	148人	-18人	
人口密度	0.13人/ha	0.12人/ha	0.08人/ha	-0.01人/ha	
65歳以上	人口	135人	125人	100人	-10人
	比率	54.9%	54.8%	67.6%	-0.1%
18歳以下	人口	19人	23人	11人	4人
	比率	7.7%	10.1%	7.4%	2.4%
外国籍	人口	6人	11人		5人
	比率	2.4%	4.8%		2.4%

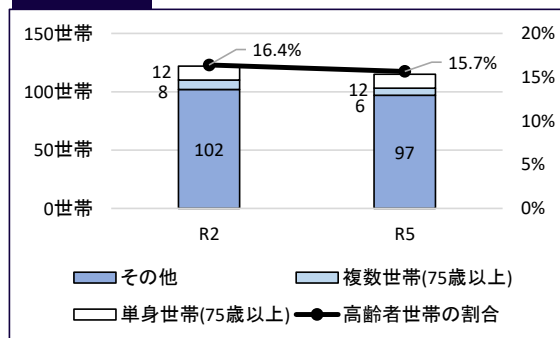
◆人口推移



◆世帯

	令和2年	令和5年	増減
総世帯	122世帯	115世帯	-7世帯
単身世帯 (75歳以上)	12世帯	12世帯	0世帯
複数世帯 (75歳以上)	8世帯	6世帯	-2世帯
高齢者世帯割合	16.4%	15.7%	-0.7%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	令和2年	令和5年	増減
要支援1.2	9人	4人	-5人
要介護1～5	29人	30人	1人
合計	38人	34人	-4人

◆地域組織

	令和2年	令和5年	増減
自治会	3	3	0
老人クラブ	2	0	-2
子ども会	0	(1)	(1)

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	2
主任児童委員	1
福祉委員	11
介護保険施設・事業所	1
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・一般診療所	0
歯科診療所	0
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	11

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	令和2年	令和5年	増減
ふれあいいきいきサロン	1	1	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	0	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

三世交流事業として、夕涼み会ややまびこフェスタを行っています。

【訪問活動】

高齢者宅に配食訪問活動を行っています。

【その他】

リーダー会や研修会を開催し福祉意識の向上を図っています。



バス旅行(なばなの里イルミネーション見学)



サカーブス(健康クラブ)

◆ちょこボラ活動

○ええやん助け合いよろづや縁

対象者:75歳以上の高齢者

活動内容:こみ出し、草刈り、話し相手、障子の取替など
年々人口が減少するとともに超高齢化となっている坂下地区で、いつまでも安心して暮らしていけるよう住民同士が助け合い・支え合っているよう取り組んでいます。

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・夕涼み会
- ・西部ルート利用ハイキング
- ・ええやん坂下やまびこフェスタ ・ふれあい交流会
- ・節分祭 ・バス旅行 ・防犯講座
- ・敬老会 ・配食訪問活動
- ・坂下健康マイレージ(歩数計による健康管理)
- ・腸活事業(焼き芋配布事業)
- ・サカーブス(健康クラブ)
- ・集いの場
- ・健康体操

◆生活支援コーディネーターからのコメント

坂下地区の人口は市内で一番少ない228人で、そのうち54.8%にあたる125人が65歳以上です。地域内115世帯のうち、15.7%にあたる18世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の4.8%にあたる11人が外国籍です。

地域の特色として、地区内にスーパーや個人商店はありませんが、3カ所に移動販売が来ており住民の生活支援の一助となっています。地域活動として、特にフレイル予防と健康寿命増進に力を入れており、歩数計で毎日の活動を記録する坂下健康マイレージや毎週金曜日に鈴鹿馬子倶会館にある運動・健康器具を使い筋力維持を目指す「サカーブス」を行っています。また、月1回サカーブスの後にカレーを食べながらコミュニケーションを図る集いの場を開催したり、「腸活」につながる焼き芋を配布しています。

令和3年4月に発足したちょこボラ団体「ええやん助け合いよろづや縁」は、高齢者に対して定期的なゴミ出しなどの生活支援を行っています。今後も住民同士の絆や顔の見える関係性を維持しつつ、誰もが地域でいつまでも安心して健康に過ごすことができるような体制を継続していくことが期待されます。